

ひ お ま

2009. 12

Vol.56

HIOKI-City <http://www.city.hioki.kagoshima.jp/>

主な記事

- 平成20年度の決算を公表します2
- 日置市の連結財務諸表を作成しました.....6
- 行政改革の進ちょく状況について10
- 乗合タクシー実証運行を実施について12
- 共生・協働の地域づくり613
- 地域駅伝競走大会14
- まちの話題16
- 市民の広場26



平成20年度 市の決算を 公表します

市民の皆さまに納めていただいた税金や、国・県からの補助金などの歳入は「地理的特性と歴史や自然との調和を生かしたふれあいあふれる健やかな都市づくり」を目指して、わたしたちの生活をよりよくするためにさまざまな形で使われています。

このたびの12月議会定例会において、市の平成20年度決算が認定されましたので、地方自治法第233条第6項の規定に基づき決算状況を公表いたします。

平成20年度の一般会計決算規模は、歳入総額が二二億九千二百五十八万六千円（前年度比97・6%）、歳出決算額が二二億八千六百三十四万八千円（前年度比98・5%）で、歳入歳出ともに平成19年度を下回りました。

歳入から歳出を差し引いた額は五億六千二百三十三万八千円、このうち平成21年度へ繰り越した事業の財源にしなければならぬ額を除いた実質収支額は四億六千七百七十七万二千円でした。

世界的な金融不安と景気後退局面の中で、国の経済対策による地域活性化・生活対策臨時交付金や地方再生対策費の創設による普通交付税の増額により、財源調整のための財政調整基金を取り崩さずに済んだことや前年度の決算積立などにより財政調整基金残高が三十億四千九百八十万二千円で三億八千二百二十五万円の

増となりました。

市債残高については、平成20年度末で三百三十九億円と平成19年度末と比較して七億円の市債を減少させており、公債費の抑制に努めているところです。

市では、これまで行ってきた歳入歳出改革の努力を決して緩めることなく、引き続き、集中改革プランなどに基づく財政改革を積極的に推進し、本市が目指す基本構想の実現に向け、また、将来にわたって足腰の強い持続可能な財政構造を構築するため、限られた予算で最大の効果が得られるよう取り組んでまいります。

歳入

歳入の大部分は国や県などに頼るお金で依存財源（73・8%）とよばれるものです。その中でも、市が一定水準の行政サ

ビスを保つために交付される「地方交付税」が全体の39%を占めており、次いで、投資的事業などの財源となる、国からの補助金等の「国庫支出金」が13・3%、長期で借り入れる「市債」が11・2%となつています。投資的経費については、緊急度や効果を十分に考慮し、合併特例債などの有利な市債の発行に努めてまいります。

市が自ら賄えるお金である自主財源（26・2%）は皆さまに納めていただいた「市税」が19・3%を占めています。

歳出(目的別)

歳出を、使った目的別に見てみると、「民生費」が四十九億八千七百二十八万八千円で全体の22%を占めています。これは、児童福祉、高齢者福祉および障害者福祉、生活保護費などに関する支出で、子どもから高齢者まで安心して暮らせる

福祉のまちづくりに使われています。次に多いのが、過去の投資的経費の財源として借り入れた市債の元利償還金である「公債費」で、全体の17・3%を占めています。

歳出(性質別)

歳出を、使った性質別に見てみると、「人件費」、「公債費」および「扶助費」の義務的経費が全体の51・1%を占めています。「普通建設事業費」および「災害復旧事業費」の投資的経費が20・2%、「物件費」、「繰出金」などのその他の経費が28・7%となっています。

普通建設事業費が四十五億九百三十六万九千円と全体の19・9%を占めていますが、道路や学校の施設整備などに関する支出で、市民生活と密接に関連した社会基盤の整備に使われています。次いで、人件費が全体の19%となっています。

平成20年度に実施した主な投資的事業

私立保育所施設整備事業（伊集院地域、吹上地域）
合併浄化槽設置整備事業（市内全地域）
活動火山周辺地域防災営農対策事業（伊集院地域、東市来地域）
江口蓬莱館増築事業（東市来地域）
県営中山間地域総合整備事業（伊集院地域、東市来地域）
県営かんがい排水事業（日吉地域）
河川工作物応急対策事業（東市来地域、吹上地域）
県営老朽溜池等整備事業（吹上地域）
広域営農団地農道整備事業（吹上地域）
道整備交付金事業（市内全地域）
地方道路整備臨時交付金事業市道整備（市内全地域）
辺地対策事業市道整備（伊集院地域、吹上地域）
過疎対策事業市道整備（東市来地域、日吉地域、吹上地域）
半島振興道路整備事業市道整備（伊集院地域）
まちづくり交付金街路整備事業（伊集院地域）
まちづくり交付金公園整備事業（伊集院地域）
公営住宅整備事業（新宮住宅、椋園住宅）
土地区画整理事業（徳重地区・湯之元第一地区）
防火水槽整備事業（伊集院地域、東市来地域、日吉地域）
消防ポンプ自動車等整備事業（伊集院地域）
伊集院中学校校舎建設事業（伊集院地域）
伊集院文化会館整備事業（伊集院地域）
総合運動公園整備事業（東市来地域、日吉地域）
まちづくり交付金集会所施設建設事業（伊集院地域）

市債の状況

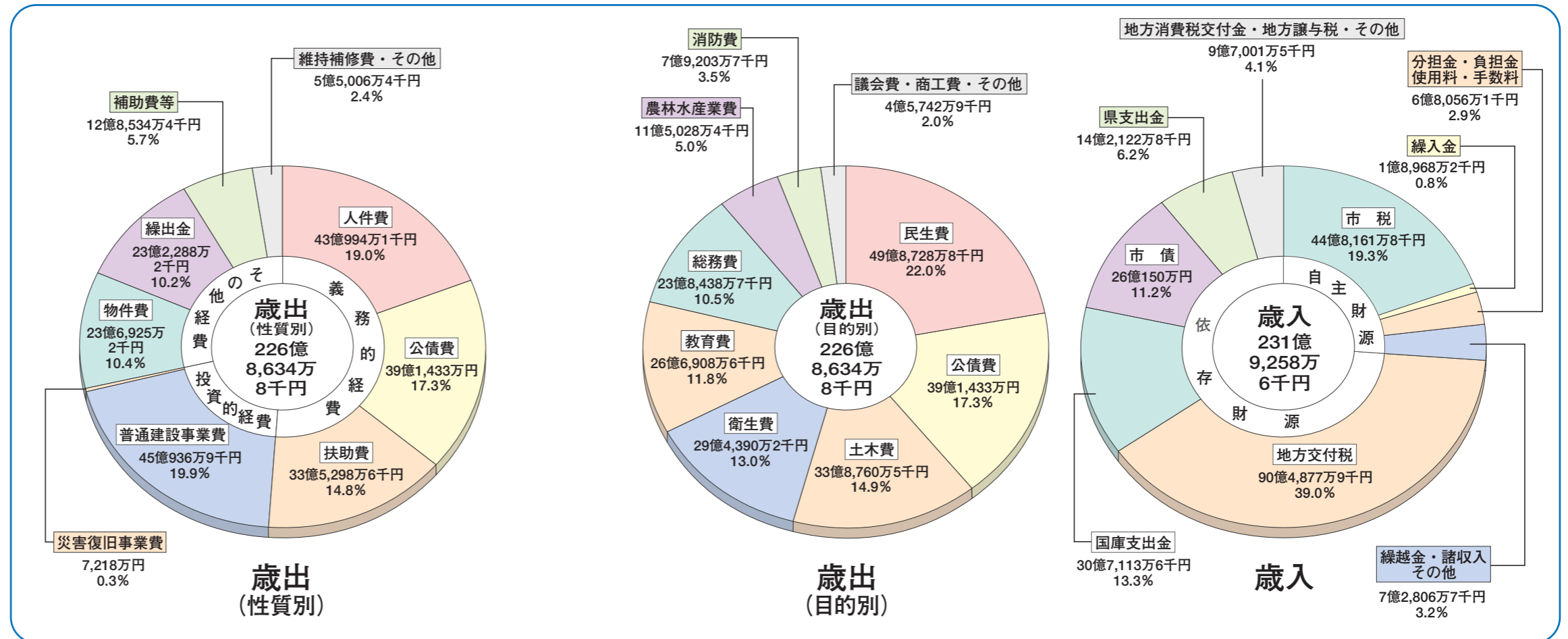
平成20年度借入額	26億150万円
平成20年度末借入金残高	339億6,406万5千円

平成20年度特別会計決算状況

会計	歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引額
国民健康保険特別会計	66億578万3千円	62億7,092万4千円	3億8,485万9千円
老人保健医療特別会計	8億1,604万4千円	8億1,604万4千円	0円
特別養護老人ホーム事業特別会計	3億1,997万1千円	2億9,857万5千円	2,139万6千円
公共下水道事業特別会計	7億1,907万7千円	6億8,593万4千円	3,314万3千円
農業集落排水事業特別会計	4,071万2千円	3,927万7千円	143万5千円
国民宿舎事業特別会計	2億4,085万3千円	2億3,686万3千円	399万円
国民保養センター及び老人休業ホーム事業特別会計	941万6千円	895万9千円	45万7千円
温泉給湯事業特別会計	780万6千円	459万6千円	321万円
公衆浴場事業特別会計	290万円	209万2千円	80万8千円
飲料水供給施設特別会計	61万8千円	52万5千円	9万3千円
住宅新築資金等貸付事業特別会計	501万3千円	500万8千円	5千円
介護保険特別会計	42億7,090万3千円	41億7,081万2千円	1億9万1千円
後期高齢者医療特別会計	5億5,404万9千円	5億5,251万4千円	153万5千円
診療所特別会計	3,111万8千円	3,111万7千円	1千円

平成20年度公営企業会計決算状況

会計	歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引額
国民健康保険病院事業会計	2億9,542万8千円	3億4,304万7千円	△4,761万9千円
水道事業会計	7億5,298万4千円	7億1,067万4千円	4,231万円



平成20年度決算に基づく財政健全化判断比率の公表

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」が平成19年6月に公布され、地方公共団体は、毎年度の決算に基づき4つの健全化判断比率（「実質赤字比率」「連結実質赤字比率」「実質公債費比率」「将来負担比率」）および公営企業ごとの資金不足比率を算定し、監査委員の審査を受けたうえで議会に報告し、公表することが義務づけられました。

この法律は、各比率を早期健全化基準（イエローカード）と財政再生基準（レッドカード）の2段階でチェックし、地方公共団体の財政破綻を未然に防ぎ、財政状況の早期改善を促すことが目的です。

健全化判断比率のどれか一つでも早期健全化基準を上回った場合、自主的な改善努力による財政健全化が求められ、財政健全化計画の策定と外部監査の実施が義務づけられます。

財政再生基準を上回った場合は、国などの関与による確実な再生が図られます。財政再生計画の策定と外部監査の実施が義務づけられるほか、国の同意がないと地方債の発行ができなくなるなどの制限が課せられます。

また、資金不足比率が経営健全化基準を上回った場合は、基準を超えた公営企業ごとに経営健全化計画を策定し、自主的な改善努力による経営健全化が求められ、外部監査の実施が義務づけられます。

策定された各計画は、毎年度、その実施状況を議会に報告し公表することになります。

日置市の平成20年度決算に基づく各比率は、下表のとおり、いずれも早期健全化基準、経営健全化基準以下であり、財政状況は健全状態にあるといえますが、財政状況が厳しいことには変わりなく、今後も、より一層の健全的な財政運営に努める必要があります。

《健全化判断比率》

(単位：%)

項目	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
日置市の比率	—	—	15.3	84.2
早期健全化基準	12.84	17.84	25.0	350.0
財政再生基準	20.00	40.00	35.0	—

《資金不足比率》

特別会計の名称	資金不足比率	経営健全化基準
公共下水道事業特別会計	資金不足はない。	20%
農業集落排水事業特別会計		
国民宿舎事業特別会計		
国民保養センター及び老人 休養ホーム事業特別会計		
温泉給湯事業特別会計		
公衆浴場事業特別会計		
国民健康保険病院事業会計		
水道事業会計		

実質赤字比率

一般会計などの赤字の程度を指標化し、財政運営の深刻度を示すもので、比率が高いほど深刻な状況となります。
日置市は一般会計等における実質収支は黒字であり、実質赤字比率はありません。

連結実質赤字比率

すべての会計の赤字や黒字を合算し指標化することで、日置市全体の財政運営の深刻度を示します。
日置市はすべての会計において実質収支は黒字であり、連結実質赤字比率はありません。

実質公債費比率


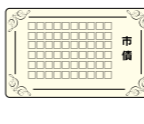











その年度の公債費（借入金の返済額）およびこれに準ずる額の大きさを指標化したもので、資金繰りの危険度を示します。
比率が高いほど公債費の負担が大きく、財政の弾力性が低下し、他の経費を削減しないと赤字団体に転落する危険性が高まります。

将来負担比率

一般会計の借入金などの将来支払っていく可能性のある負担額の割合を指標化したもので、比率が高いほど、市の財政規模に比べて将来負担が大きいことになり、将来の財政を圧迫する可能性が高まります。

資金不足比率

公営企業の資金不足（赤字）を公営企業の事業規模である料金収入と比較した指標で、経営状況の深刻度を示すものです。
比率が高くなるほど、料金収入で資金不足を解消するのが難しくなり、公営企業として経営に問題があることとなります。
日置市は全ての公営企業において資金不足はありません。

市民1人当たりの支出額(目的別) 総額 437,234円		市民1人当たりの市税負担額 総額 86,374円	
民生費  96,120円	公債費  75,441円	固定資産税  41,869円	
土木費  65,289円	衛生費  56,738円	市民税  37,824円	市町村たばこ税  4,262円
教育費  51,441円	総務費  45,954円	軽自動車税  2,372円	入湯税  47円
農林水産業費  22,169円	消防費  15,265円		

市民一人当たり 約八万六千円を負担
市民一人に 約四十二万七千円を支出

平成20年4月1日現在の住民基本台帳人口（五万八千八百八十六人）で、市民一人当たり換算してみます。
歳入のうち「市税」は市民一人当たり約八万六千三百円の負担となりました。内訳は、全体の48.5%を占める「固定資産税」がトップで約四万八千八百円、以下「市民税」が約三万七千八百円（43.8%）、「市町村たばこ税」が約四千二百

円（4.9%）となっています。
次に歳出を目的別にみてみます。市民一人当たりに使われるお金は、総額で約四十三万七千二百円となりました。最も多いのが前述したように「民生費」で約九万六千円、次いで「公債費」が約七万五千四百円、「土木費」が約六万五千二百円となっています。
皆さまから納めていただく税金と、事業などに使われるお金では一人当たり約三十五万八千円の差があります。この不足額の大部分が「地方交付税」や国・県からの支出金などで賄われることとなります。

日置市を一般家庭にたとえると…

市の平成20年度一般会計歳入歳出決算額を一般家庭の1年間の家計簿に置き換えてみました。
市の財政状況は、給与収入など家族で稼いだお金だけでは支出のすべてを賄えず、援助や借金に頼っている状況で、経費の削減が必要です。

収 入			支 出		
項目	金額	構成比 (%)	項目	金額	構成比 (%)
給与収入 (市税)	89万6千円 (44億8,161万8千円)	19.3	食費 (人件費)	86万2千円 (43億994万1千円)	19.0
パート収入及びアパートの家賃収入等 (使用料、手数料等)	19万7千円 (9億8,651万4千円)	4.3	光熱水費、日用雑貨 (物件費)	47万4千円 (23億6,925万2千円)	10.4
預金の取り崩し (繰入金)	3万8千円 (1億8,968万2千円)	0.8	医療費 (扶助費)	67万1千円 (33億5,298万6千円)	14.8
前年度からの繰越金 (繰越金)	8万4千円 (4億2,211万5千円)	1.8	ローンの返済 (公債費)	78万3千円 (39億1,433万円)	17.3
親からの援助 (地方交付税、国県支出金等)	290万2千円 (145億1,115万8千円)	62.6	子どもへの仕送り (繰出金、投資及び出資金)	48万1千円 (24億679万3千円)	10.5
借金 (市債)	52万円 (26億150万円)	11.2	家の増改築費、自動車の購入費 (投資的経費)	91万6千円 (45億8,154万9千円)	20.2
合 計	463万9千円 (231億9,258万6千円)	100.0	自治会費、サークル会費 (補助費等)	25万7千円 (12億8,534万4千円)	5.7
平成21年度への繰越金 [収入-支出] 10万2千円 (5億623万8千円)			定期預金 (積立金)	7万6千円 (3億7,834万2千円)	1.7
			家などの修理 (維持修繕費)	1万8千円 (8,781万1千円)	0.4
			合 計	453万7千円 (226億8,634万8千円)	100.0

※ 金額は、決算額を5000分の1の規模に圧縮し端数を調整したものです。
※ ()は、決算上の区分と決算額を表しています。

新地方公会計制度による連結財務諸表の読み方

作成基準日

作成基準日は平成21年3月31日としています。ただし、出納整理期間（平成21年4月1日～5月31日）における出納については、基準日までに終了したものととして算入します。

1年基準の採用

1年基準とは、貸借対照表の表示上、流動・固定を分類するにあたり、貸借対照表の基準日の翌日から1年以内に入金または支払の期限が到来するものを流動資産または流動負債とし、それ以外のものを固定資産または固定負債とする分類基準です。

貸借対照表

地方公共団体における貸借対照表（＝バランスシート）とは、これまでの行政活動によって形成された道路、建物や土地などの資産と、その資産を形成するために要した負債や財源との関係を表したものです。

借方	貸方
1. 公共資産	1. 固定負債
2. 投資等	2. 流動負債
3. 流動資産	
	負債
	純資産
資産	

資産形成のために作った借金額

資産形成のため、すでに支払った額

現在市が保有する資産の総額

資金収支計算書

資金収支計算書（＝キャッシュフロー計算書）とは、1年間の自治体における収入と支出を性質別に分類して、支出と財源の関係など資金の流れを見るための財務書類です。

経常収支
支出、収入
公共資産整備収支
支出、収入
投資・財務的収支
支出、収入
当年度資金増減額
期首資金残高
期末資金残高

各分野ごとに投入した現金とその他のために用いた収入額

今年度の資金増減額

昨年度末の資金残高

今年度の現金収支の結果、形成された資金残高

行政コスト計算書

行政コスト計算書（民間では損益計算書）とは、行政コストを種類別に区分して、どこにどれだけかかっているのか、それに対する収入はどれくらいあるのかといった計算を行うようになっています。

経常行政コスト
1. 人にかかるコスト
2. 物にかかるコスト
3. 移転支的コスト
4. その他のコスト
経常収益
1. 使用料・手数料
2. 分担金・負担金・寄附金
3. その他の収益
純経常収益行政コスト

行政サービスを提供するためのコスト

行政サービス直接対価としての収入

経常行政コストから経常収益を引いたもの

純資産変動計算書

純資産変動計算書とは、バランスシートの純資産の部が1年間でどのように変動したのかを計算する財務書類です。その計算は、昨年度バランスシートの純資産に対して、どれだけ収入があり、どれだけ収入を減らすような要因があったかを差し引きして行います。

期首純資産残高
△減少要因
○増加要因
期末純資産残高

昨年度末の純資産残高

今年度末の純資産残高

平成20年度決算 日置市の連結財務諸表を作成しました。

これまでの現金主義会計

歳入歳出決算書

○現金の収支のみを記帳
土地や建物といった現金以外の資産や借入金などの負債の情報が蓄積されません。

これから発生主義会計

貸借対照表

資金収支計算書

行政コスト計算書

純資産変動計算書

○資産や負債なども記帳
土地や建物といった現金以外の資産や借入金などの負債の情報が蓄積し、現金支出を伴わない減価償却費や引当金などの情報が計上されます。

○新地方公会計制度とは？
平成18年6月に「簡素で効率的な政府を実現するための行政改革の推進に関する法律」が成立し、同法を踏まえ、地方公共団体の資産・債務改革の一環として、総務事務次官通知「地方公共団体における行政改革の更なる推進のための指針」の中で財務諸表の整備をすることが求められていました。
これに基づき、本市の財政状況を市民によりわかりやすく提供するため、減価償却費などの企業会計的な手法を取り入れた財務諸表（貸借対照表、行政コスト計算書、純資産変動計算書、資金収支計算書の4表）として、平成20年度決算を加味した連結財務諸表を作成いたしましたのでお知らせします。
○これまでの公会計制度との違いは？
これまでの地方公共団体の公会計制度（現金主義会計）は、その年ごとのような収入があり、それをどのように使ったかといった現金の動きがわかりやすい反面、市が整備してきた資産や借入金などの負債にかかるストック情報、行政サービス提供のために発生したコスト情報の不足といった弱点がありました。今回整備した新地方公会計制度に基づく連結財務諸表では、企業会計的な手法（発生主義会計）を取り入れられました。

○日置市の連結対象団体は？
また、市では一般会計で行っている事業以外にも、特別会計事業や病院事業、水道事業など、市民の皆さまに密接なかわりを持つ事業を行っています。ほかにも右図のように土地開発公社や、一部事務組合などの関係団体と連携協力して実施する行政サービスもあります。このように市の財政は一般会計のみで成り立っているわけではなく、連結財務諸表は、普通会計や特別会計に加え、公営企業会計および市が一定割合以上を出資している関係団体や法人をひとつの行政サービス実施体とみなして作成しました。

普通会計		日置市全体 (特別会計等)
一般会計	飲料水供給施設特別会計	
	住宅新築資金等貸付事業特別会計	
国民健康保険特別会計	特別養護老人ホーム事業特別会計	
老人保健医療特別会計	公共下水道事業特別会計	
介護保険事業特別会計	農業集落排水事業特別会計	
後期高齢者医療特別会計	国民宿舎事業特別会計	
診療所特別会計	国民保養センター及び老人休養ホーム事業特別会計	
温泉給湯事業特別会計	公衆浴場事業特別会計	
水道事業会計	国民健康保険病院事業会計	
日置市土地開発公社	いちき串木野市・日置市衛生処理組合	
社団法人日置市農業公社	鹿児島県後期高齢者医療広域連合	
鹿児島県市町村総合事務組合	南薩地区衛生管理組合	

連結



行政改革

平成18年度から20年度までの3年間で

「38億5000万円」の効果

市では「日置市行政改革大綱」に基づいて平成18年度からさまざまな行政改革に取り組んでいます。平成22年度までの5年間の目標効果額をおおむね50億円と定め55のアクションプランに沿って進めている行政改革。今回は20年度までの3年間の効果について報告します。実績を踏まえ、見直しを行いながら、さらなる「改革」を推進します。

市では、平成17年度に策定した「日置市行政改革大綱」に基づいて、平成18年度から22年度までの5年間の具体的な取り組み方法となる、55項目の行動計画（アクションプラン）を定め、平成18年度から行政改革に取り組んでいます。

その目標とする効果額は、平成17年度当初予算額と比較し、おおむね50億円。これに対し平成20年度までの効果額は38億5千3百万円となりました。

歳入の効果では、市税の確保が最大の要因です。市税の確保は、市税の確保が最大の要因です。また、新たな自主財源の確保

と、市民サービスの向上および地域経済の活性化を図るために、市の資産や発行物等を広告媒体として有効活用することを目的とする、有料広告事業を導入しました。

歳出の効果では、職員の定員適正化計画を定め、定員管理を実施、職員削減に努めてきました。また、補助対象事業のこれまでの実績や効果を検証しながら、補助金の整理統合に取り組んでいます。

さらに、指定管理者制度を導入し、平成21年4月で、33の公共施設で民間事業者等による管理運営を実施し、効率的な管理運営を推進しています。

55のアクションプランの進捗度

進捗度	早く進行	目標達成	ほぼ計画どおり	少し遅れている	かなり遅れている	未着手	計
基本的な柱							
1 行政ニーズへの迅速かつ的確な対応を可能とする組織	1	11	2				14
2 定員管理および給与の適正化	5	2					7
3 自主性・自立性の高い財政運営の確保	4	12	1				17
4 地方公共団体における行政の担うべき役割の重点化			8	2			10
5 人材育成			1	2			3
6 電子自治体の推進			2				2
7 議会		2					2
合計	12	36	7				55

●55項目のアクションプラン進捗状況の詳細は日置市ホームページをご覧ください。



行政改革推進委員会を開催

市では、簡素で効率的な市政の実現を図るため、日置市行政改革推進委員会（会長 萩野誠 鹿児島大学教授）を設置し、行政改革の推進に関する調査、審

議などを行っています。十月二十一日、今年度第一回の会議が開催され、審議スケジュールや行政改革行動計画（アクションプラン）の進捗よく状況について協議しました。

市からのこれまでの実績報告に、委員からは「自治体を取り巻く状況が厳しい中で、これまでの取り組みは評価する」「今後の目標とする効果額の達成に向けた取り組みを続けてもらいたい」といった意見が交わされました。

アクションプランにより実施した主な内容

- 行政ニーズへの迅速かつ的確な対応を可能とする組織**
 - 事務組織機構の見直しを進め、18年度の50課を21年度から39課に削減しました。
 - 年度当初に各課の経営方針を策定し、共通理解を図るとともに公表しています。
 - 本庁に総合案内員を設置し、市役所を利用する市民のサービス向上を図りました。
 - 市が政策等の策定にあたり、案を公表し、市民の意見を考慮していくパブリックコメント制度を導入しました。（環境基本計画ほかで制度を実施）
- 定員管理および給与の適正化**
 - 定員適正化計画に基づき、職員数の削減に取り組んでいます。（平成20年度までに85人（合併前不補充18人含む）の削減）
 - 特殊勤務手当の見直し（削減・廃止等）と特別職等給与等を削減しました。（市長△15%、副市長△10%、教育長△8%、議員△3%、管理職手当△10%、職員△2%）
- 自主性・自立性の高い財政運営の確保**
 - 有料広告事業によるゴミ袋への広告掲載を開始しました。
 - 未利用土地・建物の売却、不用になった公用車等の売却を進めました。（約1億3千万円）
- 地方公共団体における行政の担うべき役割の重点化**
 - 指定管理者制度を導入し、平成21年4月で33施設において民間事業者等が管理運営を実施しています。
 - 地域協働を推進するために地区公民館制度を立ち上げ、全26地区にコミュニティ連絡所としての地区公民館を設置しました。
- 人材育成**
 - 職員研修計画を策定し、積極的な研修参加、資質向上に努めました。（平成20年度でチャレンジ研修として31科目に206人が受講しました。）
- 電子自治体の推進**
 - 地域情報化計画を策定し、情報化を推進、20地区公民館と4郵便局で住民票等の発行が可能になりました。
- 議会**
 - 議員定数を30人から22人に削減しました。

アクションプランに基づく行政改革効果額

歳入 (単位：千円)

アクションプラン項目	20年度までの実績	
	目標額	効果額
使用料・手数料の見直し	3,000	3,390
市税等公金徴収率の数値目標設定	25,587	814,171
未利用土地等の活用・処分	※①	136,169
合計	28,587	953,730

歳出 (単位：千円)

アクションプラン項目	20年度までの実績	
	目標額	効果額
補助金の整理統合	50,000	48,500
定員適正化計画の策定・公表	297,460	397,396
臨時職員・嘱託職員等の適正配置	23,213	1,988
特殊勤務手当の見直し	5,269	3,767
特別職等の給料等の検討	※②	12,364
消耗品費等の削減	135,000	197,385
委員会・審議会等の整理統合	423	3,968
選挙投票区の見直し	2,000	※③
事業の厳選と優先順位の設定	1,428,000	2,210,082
指定管理者制度の導入	25,256	24,496
合計	1,966,621	2,899,946

※①②＝プラン作成時に目標額が定められていません。
 ※③＝来年度の効果額に反映されます。

「笑い」は健康の特効薬!!

NPO法人「いちごいち笑~明日香の家族~」の活動から

「笑い」は健康の特効薬!!
NPO法人「いちごいち笑~明日香の家族~」の活動から

福祉現場で感じた課題

代表の浅山さんがその現場を通じて感じたこと。それは「高齢者や障がい者本人、介護者、子育て中の親への心身の負担軽減が社会的な課題。今後、「心のケア」がもっとも大事なことでないか」ということでした。

この思いが「笑って元気!」プロジェクト立ち上げのきっかけとなりました。



地域に根ざした活動を行う地区や自治会は「地域団体」。一方、専門性の高い市民活動を行うNPO法人やボランティア団体は「志縁団体」といわれ、志(こころざし)が同じ有志による組織です。今回は、「NPO法人いちごいち笑」の活動から、共生・協働の具体的な実践例をご紹介します。



笑顔がたえない会場

プロジェクトには、日本のクラウンの草分け的存在である、石井裕子さん(トシちゃん一座・滋賀県)を毎回招致。いちごいち笑は事業の一般的な運営管理

「心のケア」をプロジェクトの柱と位置付け、クラウン活動(病院などに入院や入所している子どもにも、笑顔をプレゼントする

プロジェクトの柱は「笑い」

多様な主体との協働へ

現在、子育ての現場でも「心のケア」の重要性に注目が集まっています。いちごいち笑は、クラウンの活動を子育て中の親にも知ってもらい、元気になってもらおうと、市や各地域の子育て支援センターと協働で、「笑って元気」プロジェクトに取り組んでいます。

NPO法人いちごいち笑 代表理事 浅山圭史さん



福祉を中心に活動していますが、あらゆることに積極的に取り組んでいます。また、NPO相互の連携もしていきたいと考えています。来年1月には家庭介護や看護の講習会も計画していますので、市民の皆さんのご参加をお待ちしています。

を担当します。

地域子育て支援センターは日程の調整、クラウンの受け入れ、利用者への参加の呼びかけ、一部経費を負担しました。また、市は行政無線で市民へ呼びかけたり、「クラウン講習会」会場を確保、提供したりしたほか、協働に関わる調整を行いました。その結果、子育て支援センターや講習会場に集った大勢の市民は、笑顔で「笑い」の大切さを共有できました。

このプロジェクトには多様な主体が参画し、それぞれの特性に応じた役割分担を行い、展開されました。この取り組みも共生・協働の地域づくりです。

乗合タクシー 実証運行を実施します



市では新しい公共交通として「乗合タクシー」を、伊集院地域と吹上地域の一部区間で試験的に運行します。(コミュニティバスの運行はそのままです。)

乗合タクシーとは、乗合バスに近い状態で複数人が乗り合わせて利用するタクシーのことで、予約に応じて運行するデマンド型の乗合タクシーとなります。

実証運行期間は約2カ月、運行路線・運行日は次のとおりです。

運行路線	運行日	
上神殿線	1月	20(水) 22(金) 27(水) 29(金)
	2月	3(水) 5(金) 9(火) 12(金) 17(水) 19(金) 24(水) 26(金)
	3月	3(水) 5(金) 10(水) 12(金) 17(水) 19(金)
久木野々線	1月	18(月) 21(木) 25(月) 28(木)
	2月	1(月) 4(木) 8(月) 10(水) 15(月) 18(木) 22(月) 25(木)
	3月	1(月) 4(木) 8(月) 11(木) 15(月) 18(木)
平鹿倉・湯之元線	1月	19(火) 21(木) 25(月) 28(木)
	2月	2(火) 4(木) 9(火) 12(金) 15(月) 18(木) 24(水) 26(金)
	3月	3(水) 5(金) 10(水) 12(金) 15(月) 18(木)
日添・田之尻線	1月	20(水) 22(金) 26(火) 29(金)
	2月	3(水) 5(金) 8(月) 10(水) 16(火) 19(金) 23(火) 25(木)
	3月	1(月) 4(木) 9(火) 11(木) 16(火) 19(金)

■ 運行路線は

現行のコミュニティバスの伊集院地域、上神殿線と久木野々線、吹上地域の平鹿倉線・湯之元線と日添・田之尻線を運行します。

それぞれの出発地域と市街地にある市役所や病院、金融機関、商業施設等の公共施設を結びます。出発地域は利用者宅に近い公道沿いで乗降でき、バス路線は路線上の希望する場所で、市街地は定められた範囲内にある公共施設の前で乗降できます。

■ 予約して利用します

乗車を希望する場合は、運行するタクシー事業者に予約する必要があります。ひとりからでも利用できますが、予約がない場合は運行しません。

■ 運行時間と予約時間

便	出発時間	予約時間
市街地行き(往路)	午前 8:00~8:15	前日の午後 6時まで
	正午~午後 0:15	当日の午前 11時まで
郊外行き(復路)	午前 11:30~11:45	当日の午前 10時まで
	午後 4:00~4:15	当日の午後 3時まで

※ 予約状況に応じて、複数人での乗り合わせとなるため、時間には余裕をもった利用となります。

■ 利用料金は300円

全区間均一とし、1回の乗車につき300円とします。未就学児については無料です。

■ 運行业者

区分	タクシー事業者	電話番号
伊集院地域	1/18~2/5	(有)伊集院タクシー 0120-112105 099-273-2105
	2/8~2/26	ひまわり交通(株) 0120-088122 099-272-2741
	3/1~3/19	(有)吉村タクシー 0120-012171 099-273-2171
平鹿倉・湯之元線	(有)湯の浦タクシー 0120-493456 099-296-2088	
日添・田之尻線	(有)内田タクシー 0120-442300 099-296-2300	

※ 詳しくは対象地区に配付したチラシをご覧ください。市役所企画課までお問い合わせください。



吉利体育協会Aチームが4連覇達成! 11/23 第41回 日吉地域駅伝 日吉地域一周



▲やったぞ! 4連覇 ▲後は、頼んだぞ ▲9チームが緊張のスタート

スタート	1区	2区	3区	4区	5区	6区	7区	8区	9区	10区	11区	12区	13区	14区	15区	順位	地区名	所要時間
日吉総合体育館	今村商会前	建設課詰所前	山田林道入口	老人福祉センター入口	日吉支所前	天司集落踏切跡	池上片野坂	永吉坊野三叉路	扇尾小前	草見公民館前	笠ヶ野山ノ口バス停前	上日置バス停前	住吉五丁目橋	中牟礼小正酒店	日吉総合体育館			
距離	1,500m	800m	2,200m	700m	800m	1,100m	2,300m	3,000m	3,200m	2,100m	800m	1,900m	1,400m	1,800m	1,100m			
川西B																1	吉利A	1:30:33
日新東																2	住吉A	1:34:17
川西A																3	川西A	1:35:18
吉利A																4	川東	1:35:55
川西A																5	日新	1:37:34
住吉A																6	川西B	1:41:35
扇尾																7	吉利B	1:43:47
吉利B																8	扇尾	1:49:44
住吉B (オース参加)																	住吉B (オース参加)	1:39:24
区間賞	丸田大貴 (川西B)	平川高士 (日新)	二石大輔 (吉利A)	大柴隆晃 (川東)	中屋敷朋美 (吉利A)	諏訪原鈴華 (吉利A)	奥典晃 (川西A)	鍋谷憲作 (吉利A)	中山雄志 (吉利A)	前岡直樹 (住吉A)	前岡麻樹 (住吉A)	鍋谷有作 (吉利A)	森永彩香 (吉利A)	日新 (日新)	山崎統威 (川西A)	桑原健太郎 (川西A)		
	5分12秒	2分52秒	7分53秒	2分28秒	2分52秒	3分49秒	9分07秒	10分23秒	11分34秒	8分04秒	2分34秒	5分37秒	4分55秒	6分24秒	3分37秒			

湯田地区が見事優勝! 今年の雪辱を果たす 11/15 第4回 東市来地域駅伝 東市来総合運動公園および遠見番山麓周回コース



▲湯田地区が先頭でゴール ▲懸命にタスキをつなぎます ▲優勝目指して一斉にスタート

	1区	2区	3区	4区	5区	6区	7区	8区	9区	10区	11区	12区	13区	14区	順位	地区名	所要時間
距離	1,020m	1,020m	1,500m	2,600m	730m	890m	570m	1,020m	1,500m	2,600m	730m	890m	1,020m	570m			
湯田															1	湯田	0:59:13
鶴丸															2	鶴丸	1:00:48
上市来															3	皆田	1:05:18
皆田															4	上市来	1:06:37
美山															5	美山	1:09:46
区間賞	木山翔太郎 (湯田)	今田聖奈 (鶴丸)	今田剛志 (湯田)	本石靖卓 (鶴丸)	富奥慎二 (湯田)	今田尚輝 (湯田)	宮前まい (皆田)	久保那奈 (鶴丸)	木山志葉 (湯田)	有馬拓美 (皆田)	田中秀明 (鶴丸)	下池正 (湯田)	福田美優 (上市来)	柳正満 (鶴丸)			
	3分24秒	3分43秒	5分07秒	8分04秒	2分08秒	3分40秒	2分06秒	3分56秒	5分23秒	7分20秒	2分40秒	3分42秒	4分14秒	1分42秒			

花田Aとの接戦を制し伊作Aチームが優勝 11/8 第47回 吹上地域駅伝 北回りコース



▲優勝の伊作Aチーム ▲接戦が続きます ▲優勝目指して10チームがスタート

スタート	1区	2区	3区	4区	5区	6区	7区	8区	9区	10区	11区	順位	地区名	所要時間
谷村バス停東	お滝場入口	田代野バス停	新常堀橋西	とどろ橋	Aマート前	川久保十文字	中草田交差点	国分電気前	ミ二団東	吹中正門前	吹上支所前			
距離	1,300m	1,900m	1,500m	2,100m	1,100m	1,000m	1,300m	1,500m	1,500m	900m	3,200m			
永吉												1	伊作A	0:57:32
伊作A												2	花田A	0:57:34
伊作C												3	和田A	1:00:50
花田A												4	吹上	1:01:59
伊作B												5	永吉	1:03:54
吹上												6	伊作B	1:04:05
和田A												7	和田B	1:07:12
花田B												8	花田B	1:07:14
花田C												9	伊作C	1:09:43
和田B												10	花田C	1:12:57
区間賞	永吉 (永吉)	能勢勝至 (花田A)	高良昂宏 (花田A)	樽野莉奈 (伊作A)	右田竜士 (花田A)	山崎香 (伊作B)	宇田愛 (花田A)	有馬久光 (花田A)	西園賢郎 (伊作A)	江田慎之介 (伊作A)	野添康成 (永吉)	能勢勇作 (花田A)		
	4分45秒	6分11秒	4分49秒	5分52秒	3分54秒	3分34秒	4分20秒	4分35秒	5分03秒	3分23秒	9分00秒			

妙円寺Aチーム 他を寄せ付けない強さで優勝! 11/15 第5回 伊集院地域駅伝 伊集院総合運動公園周回コース



▲1位でゴールする妙円寺Aチーム ▲力走する選手たち ▲8チームが一斉にスタート!

	1区	2区	3区	4区	5区	6区	7区	8区	9区	10区	11区	12区	順位	地区名	所要時間
距離	2,460m	1,000m	2,460m	1,000m	2,460m	1,000m	2,460m	1,000m	2,460m	1,000m	2,460m	2,460m			
徳重東西A													1	妙円寺A	1:14:03
妙円寺A													2	徳重東西A	1:21:08
飯牟礼													3	郡A	1:21:42
郡A													4	朝日ヶ丘	1:22:08
朝日ヶ丘													5	妙円寺B	1:22:52
妙円寺B													6	飯牟礼	1:24:07
麓東西													7	麓東西	1:25:11
徳重東西B													8	徳重東西B	1:32:55
区間賞	有馬拓美 (徳重東西A)	妙円寺A (妙円寺A)	井上愛菜 (井上愛菜)	藤脇孝哉 (妙円寺A)	中田紗依 (妙円寺A)	中渡瀬裕樹 (妙円寺A)	平地慎治 (妙円寺A)	船倉彰二 (妙円寺A)	柿内和浩 (妙円寺A)	西村海志 (妙円寺A)	谷村俊逸 (麓東西)	善福健二 (妙円寺B)	藤脇貴大 (妙円寺A)		
	7分12秒	3分30秒	7分23秒	3分31秒	7分58秒	3分09秒	7分52秒	3分22秒	8分36秒	3分21秒	8分41秒	8分44秒			

美山の秋、見つけた!

美山窯元まつり



人が美山に訪れました。会場では、

毎回好評のろくろ、手ひねり、絵付けを体験できる薩摩焼体験コーナーやチャリティーオークション、

十月三十一日から十一月三日まで、薩摩焼の里美山で第二十四回美山窯元祭りが開催されました。

美山コンサートなどが行われ、大いに盛り上がりました。

期間中、天候に恵まれない日もありましたが、県内外から陶芸ファンや家族連れなど大勢の

また、新企画「美山の里の宝物(スタンブラリー)」にも大勢の参加があり、与えられたヒントをもとに散策しながら秋の美山を満喫しました。



▲会場のステージで行われた美山コンサート



人馬一体、見事な一矢に大歓声

伊作流騎馬奉納



伊作流騎馬が十一月二十三日、大汝牟遲(おおなむち)神社(吹

上)で奉納されました。同神社の流騎馬は四百五十年以上の歴史があり、県の無形文化財に指定されています。

射手は高田利文さん(小野自治会)と益満太さん(浜田自治会)の二人。鮮やかな狩衣姿で堂々と馬にまたがり、神社前の馬場を疾走、馬上から放たれた矢が見事、的を打ち抜くと沿道を埋めた大勢の観衆からは歓声と拍手が送られました。また、体育行事も併せて行われました。

しんこ団子発祥の地で郷土芸能や特産品を堪能

深固院祭り

しんこ団子発祥の地といわれる「深固院跡」がある扇尾地区(日吉)で十一月十五日、深固院祭りが開催されました。

この祭りは、歴史的ないわれのある「しんこ団子発祥の地」を地域資源として生かして村おこしをしようと始まったもので、今年で十七回目。

特設ステージでは、郷土芸能「虚無僧踊り」の奉納や吉利北区婦人会の趣向を凝らした踊り、

また、扇尾保育園の子どもたちが元気いっぱい日本太鼓を披露し、観客を喜ばせてくれました。

会場には地元特産品などの販売もあり、なかでも一番人気の手づくりの「しんこ団子」の前には長い列ができ、あつという間に完売。天候にも恵まれた深固院ふれあい広場は終日、大勢の人でにぎわいました。



担い手農家に花嫁さんを!

ふれあい交流会

独身女性との交流が少ない独自の担い手農家などに、出会いの場を提供しようと十月十七日から十八日の二日間「ふれあい交流会」が開催されました。

参加者は、鹿児島市や指宿市などからの女性二十五人、日置市内の担い手農家などの男性二十七人。

開会式では宮路市長が「女性の参加者の皆さん、日置市の農業や観光を楽しんでいただき、心かよう男性とカップルができれば幸いです」とあいさつ。参加者は早速、ごぼう、アスパラガス、ソリダゴやサツマイモの収

穫を行い、日置市の豊かな農業を体験しました。

交流パーティーでは、レクリエーションや自己PRなどを行い、参加者全員が楽しい雰囲気の中で会話を弾ませました。

二日目は、薩摩焼の里美山での陶芸体験や窯元の散策をグループごとに行い、交流を深めました。また、江口蓬菜館では、買い物や江口浜海岸の散策を楽しみました。

担い手農家の男性は「たくさん女性の女性と会話ができ、意中の女性の連絡先を聞くことができ、良かったです」と話しました。



▲サツマイモ収穫体験



▲美山での陶芸体験

恵みの秋に感謝した大収穫祭

日吉地域産業祭



日吉地域産業祭が十一月一日、日吉老人福祉センター内ふれあいセンターで開催されました。

会場には、十三団体が出店し、地元産の新米を使用した、つぎたてのもちや農産物の販売、家庭用品バザーなどが行われました。

日吉農業きばる会による野菜の品評会では、農家の皆さんが丹精込めて育てた大根、カボチャ、白菜など約二十種類が並べ

られ、どの野菜も高評価、その後行われた即売会では、あつという間に売り切れ、大好評でした。また、バナナのたき売りの実演が始まると、その独特の口調に多くの人が足を止め楽しんでいました。

そのほか、お楽しみ抽選会は行列ができるなど、会場は終日大勢の人でにぎわい、地元産の食材や秋の味覚をたっぷり堪能しました。

佐世保で躍動! 湯之元伝統馬踊り

湯之元クラブ

東市来地域の湯之元クラブが十一月一日、伝統馬事芸能「馬頭観音馬踊り」を長崎県佐世保市のウインズ佐世保で初披露しました。

これは、JRA(日本中央競馬会)が各地の場外馬券売り場などで日本各地の馬にちなんだお祭りや行事を披露・紹介するイベントの一環として実現したもの。

初の県外遠征に向け十月から

曲に合わせた振り付けの練習を積んできた同クラブ員は、午前、午後の二回、色鮮やかな花飾りをした二頭のシャンシャン馬とともに太鼓・三味線・おはやしの音色に合わせて、軽快なステップでおはら節やはんや節などを披露しました。

人馬一体となった躍りに来場者からは大きな拍手が上がり「湯之元の馬踊り」を広くPRした一日となりました。



体育行事の市関係の成績は次のとおりです。

- 〔敬称略、一位のみ〕
- 剣道〔団体〕小学生低学年天昌・日新◇小学生高学年天昌剣道スポ少◇中学生吹上・日吉クラブ〔個人〕小学三年以下内山之寛◇小学四年堀之内健◇小学五年下野陽◇小学六年松元勇斗
- 柔道〔団体〕中学女子吹上中

小規模校のよさを全国に発信

全国へき地教育研究大会

第五十八回全国へき地教育研究大会鹿児島大会が十月十五・十六日の両日開催され、本市では扇尾小学校（日吉）、土橋中学校（伊集院）で研究発表が行われました。

や地域での学びを生かした小・中連携に取り組んできました。当日は、国語や英語の授業の提供のほか、総合的な学習の時間の取り組みを発表しました。両校には、県内外からそれぞれ九十人余りの参加者があり、活発な意見交換がなされるなど、充実した研究会となりました。



▲扇尾小(国語の授業)



▲土橋中(国語の授業)



▲土橋中(総合的な学習の時間)

当日は、全学年で国語の授業を提供し、これまでの研究成果を発表しました。

土橋中学校では「基礎学力の確実な定着を図り、心豊かな子どもの育成を目指して」を研究主題に設定し、小規模校の特性

鶴丸っ子の育成研究を発表

鶴丸小学校公開研究会

「自ら楽しく体力づくりに取り組む鶴丸の子の育成」を研究主題とした公開研究会が十一月十七日、鶴丸小学校で開催され、県内の小中学校から約八十人の先生が参加しました。

これは、平成二十年度と二十一年度の二年間、鹿児島県「たくましい体・強い心」子ども育成推進研究協力校と日置市「チエスト行けひおきっ子」事業研究協力校として鶴丸小が取り組んできた体力づくりに関する研究成果を公開するために開催さ

れたものです。研究会では、資料などを参考に取り組んできた研究成果と課題についての発表があり、その後、三年生と六年生によるマツト運動と跳び箱運動の公開授業が行われました。

参加した先生らは、写真やメモをとりながら熱心に授業を視察していました。また、授業終了後の検討会では、授業の進め方や課題、他校の取組紹介など意見交換が行われ、知識を深めました。

もちを引っ張り豊作祈願

田の神講「モーモードン」

旧暦の十月最初の丑(うし)の日に行われる、田の神講「モーモードン」が十一月二十八日、古城自治会(伊集院)で行われました。

これは、向かい合った二人が牛の舌に似せたもちをくわえ、引っ張り合う伝統行事。公民館から約五百メートル離れた、田を見下ろせる高台にある田の神像に米や焼酎などを供えた後、もちを張り付け今年の豊作に感

謝しました。その後、田の神像の前で男性二人がもちを口いっぱいにくわえ、引っ張り合いが始まりました。切れたもちをたくさん取った側に来年の豊作が期待できるとあって、二人は真剣勝負。周りからは「キバレ」「そら引っ張れ」と掛け声が飛び交い、参加者全員で来年の五穀豊稔を祈願しました。



犯罪のない明るい社会を

吹上地域更生保護女性会

吹上地域更生保護女性会(長野瑛子会長)は地域内のPTA会員の方々と十月十四日、鹿児島刑務所で研修を行いました。同刑務所職員から受刑者がどういう環境で育ってきたか、再犯者についてはどういふ社会の対応を受けてきたかなどのお話を聞き、あらためて犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更正について理解を深めた研修となりました。

はじめよう! 親子でふれあい大作戦

おやこ元気アップ事業 IN ひおき



▲アイダ・アイダを楽しく体験

親子で楽しく体を動かす「おやこ元気アップ事業」が十一月一日、伊集院小学校で行われました。

この事業は、子どもの体や運動、遊びの現状と課題について理解を深めてもらいたいと市レクリエーション協会などが主催したものです。

この日は、五十四組の親子が参加し、心と体のバランスの取れた成長を促すためのダンス「アイダ・アイダ」を体験。その後、大人と子どもに分かれ、子どもたちは、ボールやロ



ープなどを使った「チャレンジ・ザ・ゲーム」で汗びっしょりになりながら体を動かし、保護者は、セミナーや交流会で情報交換を行いました。参加した保護者からは「子どもの体力や親子のふれあい、生活習慣について考えるいい機会となりました」と話しました。

大丈夫? あなたをつくる 食生活

「健康増進月間」作品コンクールで県知事賞を受賞

第二十三回健康増進月間「作文・標語コンクール」標語の部で土橋中学校の尾堂仁美さん(伊集院)が県知事賞を受賞し十月二十二日、鹿児島市で行われた「健康づくり推進大会」で表彰されました。

尾堂さんは「わたしの標語が知事賞に選ばれたと聞いたとき、うれしさと同時に驚きの気持ちでいっぱいでした。これからは、自分の食事を見直し、バランスの良い食生活や規則正しい生活習慣を身に付けていきたいです」と話しました。



瑞宝雙光章を受章

教育振興に尽力 松崎良博さん(伊集院)

松崎さんは、昭和十七年、朝鮮公立学校をかきりに各地を歴任。同五十七年に退職されるまで四十年の間、教育行政に携わりました。

その間、初等・中等教育を中心に携わり、心豊かなたくましい児童生徒の育成や地域に根ざした教育活動の推進に尽力されるなどの功労が認められ、瑞宝雙光章を受章されました。



楽しく体験、おいしく調理

食農教育出前授業



サツマイモの収穫体験と調理講習が十月三十日、日新小学校（日吉）で行われました。

このさつまいもは、JAさつまいもの職員指導の下、六月四日に学校農園に植え付けたもの。

今回の収穫体験も同職員の指導を受けながら一年生から四年生までの二十六人がつる切り、マルチはぎなどの作業やいも掘りを体験しました。泥まみれながらも、子どもたちはたくさんさつまいもを手にとりました。その後、収穫したさつまいもを使って「サツマイモプリン」と「からいも団子」を作りました。



子どもたちは、おいしいプリンを作るために蒸したサツマイモの裏ごしを一生懸命がんばりました。また、プリンと団子が出来上がると全校児童で試食、とっておいしいと好評でした。

笑顔溢れたふれあい交流会

鶴丸小 地域ふれあい会

鶴丸校区（東市来）の方々に講師に招き、さまざまな活動とおして児童と地域との交流を図る地域ふれあい会が十月二十二日、鶴丸小学校で行われました。

この交流会は毎年行われているもので、あやとりやめんこ、おはじきといった懐かしい遊びから、茶道や紙芝居、グラウンドゴルフなど全十コースに分かれて、大人と子どもが一緒に楽しく活動しました。また、普段体験する機会の少ない竹とんぼ作りやはしづくり、茶道のコースもあり、児童は講師の指導を受けながら一生懸命取り組んでいました。ふれあい活動終了後は一緒に給食を食べる時間もあり、学校中から笑い声の絶えない楽しい一日となりました。



▲茶道を体験する子どもたち

ふるさと吹上に集う

伊作中学校昭和三十四年卒同窓会

昭和三十四年伊作中学校卒業生の同窓会が十月二十日、吹上砂丘で開催され、県内はもとより、遠くは東京、名古屋、大阪から九十七人が出席しました。当日は、久しぶりに吹上の温泉を満喫。その後、恩師を囲み往年の話に花を咲かせるなど楽しいひとときを過ごし、三年後の再会を誓い合いました。



島津斉彬の業績と篤姫

日置地区講演を聴く会

尚古集成館副館長の松尾千歳さんの講演会が十一月二十七日、中央公民館で行われました。これは、日置地区講演を聴く



会の主催で行われたものです。松尾さんは、幕末の名君といわれた島津斉彬は、日本の最先端を行った集成館事業により近代産業に着手、その政治的、科学的識見が後世に偉大な影響を与えたことなどを話しました。また、篤姫の写真は、尚古集成館に保存されていたガラス原板から焼いています。このガラス原版の人物が平成七年に黎明館で篤姫展が開催された折、徳川家の協力で初めて篤姫と分かったことなど、裏話も交えた話しに、参加者は興味深く聴き入っていました。

多彩な演技で観客を魅了

東市来地域文化祭



▲民謡を披露



▲作品を熱心に鑑賞

東市来地域文化祭が十月三十一日から十一月四日にかけて、東市来文化交流センターで開催されました。

会場には、東市来地域文化協会による手工芸、生花、絵画などの作品が展示され、訪れた観覧者は熱心に鑑賞していました。三日の文化の日は、こけけホールで芸能発表も行われ、二十団体が日本舞踊、詩吟、太鼓、フラダンスなど多彩な演技を披露、会場を訪れた観客から大きな拍手が送られました。

日吉地域文化祭



▲住吉小全校児童で合唱

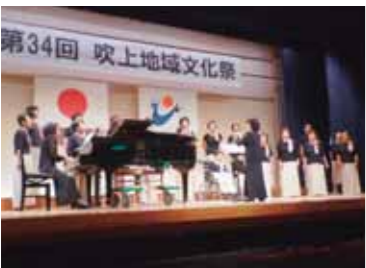


▲小・中学生の作品展示

日吉地域文化祭が十月三十一日から二日間、日吉老人福祉センターで開催されました。芸能発表会では、二十二団体が参加し、日ごろの文化活動の成果を披露。なかでも、「四季の歌」と「ふるさと」を、コール日吉（自主講座団体）と来場者全員で歌い、会場全体を美しいハーモニーが包み込みました。また、子どもたちの作品や各講座の水墨画、パッチワークなどの作品展示もあり、訪れた大勢の観覧者の目を惹きました。

芸術文化の秋を満喫

吹上地域文化祭



▲合唱を披露



▲作品に見入る観覧者

吹上地域文化祭が十月三十一日から二日間、吹上中央公民館で開催され、さまざまな芸術が披露されました。同体育館では丹精込めて育てた菊花や、絵画、手芸などの展示が観覧者を驚かせました。ホールでは、吹上中央保育園児によるマーチングをはじめ、日ごろたしなだ芸能が発表され、観客を魅了しました。



▲ハーモニーファミリーコーラス（市芸術祭）



▲芸能発表で盛り上がるステージ（伊集院地域文化祭）



▲大勢の人でにぎわう「かしこい消費者大会」

伊集院地域文化祭が十一月三日、伊集院文化会館で開催されました。作品展示部門では、水墨画や押し花アートなど思わず見とれてしまうほどの作品の数々が展示され、訪れた観覧者の目を惹きました。

ステージでは、活動発表が行われました。大正琴や舞踊、フラダンスなど、各種団体が日ごろの練習の成果を存分に披露すると、客席から大きな拍手がわき起こっていました。中央公民館前広場では「かしこい消費者大会」が行われ、各種女性団体による食事コーナーや提供品販売、青空市場など、実りの秋にふさわしい食材を買

二年の成果一堂に！展示部門、舞台発表ともに大好評

伊集院地域文化祭・日置市芸術祭

い求める、大勢の人でにぎわいました。

また、同月八日には、日置市芸術祭が同会館で開催されました。会場には、各地域公民館講座生による手芸や絵画などが所狭しと展示され、ステージでは、コーラスや詩吟、着付など多様なプログラムで演出。日ごろの芸術文化の活動の成果が発表されました。

正確かつ迅速な消防技術を競う

消防技術の向上と消防団員の意識高揚を目的に十一月八日、第五回東市来地域消防操法大会が東市来総合運動公園で行われました。

競技は、小型ポンプとポンプ車の二種目が行われ、日ごろから訓練を積み重ねてきた団員は、緊張感がみなぎる中、指揮者の号令のもと機敏な動きで操作技

東市来地域消防操法大会

術を競い合いました。

成績は次のとおりです。

- 小型ポンプの部
 - 一位 中央分団
 - 二位 上市来分団
- ポンプ車の部
 - 一位 伊作田分団
 - 二位 湯田分団



薩摩焼の普及促進のために

伝統的工芸品「薩摩焼」の普及のため、県内六十一の窯元で構成している鹿児島県陶業協同組合が実施したイベント収益の一部を日置市に寄附したいと西郷隆文理事長ら三人が十一月八日、市役所を訪れました。

西郷さんは「薩摩焼の普及促進のため薩摩焼関連の図書購入に役立ててほしい」また「組合としても鹿児島の伝統産業として薩摩焼をPRするため、さまざまな取り組みをしていきたい」と話しました。

鹿児島県陶業協同組合



水は地球の宝物

この地球の水と緑を守りたい

生活排水対策セミナー in 日置

「わがまちに最適な生活排水対策を考える」をテーマに、生活排水対策セミナー in 日置が十一月十三日、伊集院文化会館で開催され、行政関係者をはじめ市民など約三百人が出席しました。

セミナーは、生活排水対策としての浄化槽整備について、環境省浄化槽推進室の松田和久補佐の講演が、鹿児島県の生活排水対策について県生活排水対策室の田中寛技術補佐の講演がありました。

また、行動するアイデアマンで知られる、京都府綾部市の四方八州男市長が「元氣な街づくりは浄化槽から」と題して講演。



▲四方八州男綾部市長の講演

綾部市が過疎と高齢化で消滅の危機にある限界集落を「水源の里」と名づけて再生に取り組んでいる事例や、それまで計画していた下水道事業を見直し、合併浄化槽による処理に変更した経緯などを話し、参加者に大きな示唆を与えたセミナーとなりました。



▲スロープに設置された手すり

手すりの寄贈で感謝状を贈呈

伊集院経営者クラブ

伊集院地域内の経営者などで組織されている伊集院経営者クラブ（有村壮一会長）から結成三十周年を記念して、市役所玄関スロープに手すりが寄贈され、

十一月九日に行われた同クラブの三十周年記念式典において、宮路市長が感謝状を贈呈しました。

同クラブは、道徳水準を高めながら社会に貢献することを目的に活動しており、これまで本市に対し、よろいかぶと一式や図書などを寄贈するなど市政に対して広くご協力をいただいています。

小中学生が防犯願ひ、気迫の一本！

第3回日置地区防犯少年剣道錬成大会

日置地区防犯少年剣道錬成大会が十一月十四日、妙円寺小学校体育館で開催されました。

この大会は、少年剣士が一同に会し剣道を通じて親睦、心身の鍛錬、技術の向上と青少年の健全育成のために行われたもので、約百人の剣士が出場、団体戦の部、個人戦の部で競技しました。

中学校団体 優勝 吹上中学校

【個人戦】

小学校低学年男子の部 優勝 鶴田千紘

（伊集院剣心館）

小学校低学年女子の部 優勝 東奈々加

（伊集院剣心館）

小学校高学年男子の部 優勝 東幸太郎

（伊集院剣心館）

小学校高学年女子の部 優勝 瀬戸口陽子

（伊集院剣心館）

中学校男子の部 優勝 瀬平太久

（伊集院剣心館）

中学校女子の部 優勝 坂口秋恵

（吹上中学校）



▲小学生上位入賞者



▲中学生上位入賞者

今年インフルエンザの影響で出場を辞退する選手もいましたが、出場した選手たちは、日ごろの練習の成果を存分に出し合い、保護者などから大きな声援が送られました。

結果は次のとおりです。

【団体戦】

小学校団体 優勝 伊集院剣心館

（敬称略）

中学校女子の部 優勝 坂口秋恵

（吹上中学校）

異世代交流ではじける笑顔

三世代ゴルフ大会

伊集院校区三世代ゴルフ大会が十一月二十九日、伊集院総合運動公園で開催されました。



昨年までは、ゲートボールで交流を深めていたこの大会は、今年からゴルフに変えられ、十六チーム（八十人）の参加がありました。

プレーでは、思うようにボールが転がらない子どもを励ますお父さん、おばあちゃんや、子どものナイスショットに、お母さん、おじいちゃんの大きな歓声が上がっていました。

また、初めてゴルフドゴルフをする子どももいましたが、握り方や構え方を教えてもらいながら、ラウンドする姿も見られました。



▲選手宣誓をする向江町チーム

参加者らは「ボールが言うことを聞いてくれなかったけど、そう快感があつて面白かった」「距離感や微妙な力加減が難しかったが、楽しくプレーできた。来年もぜひ参加したい」などと笑顔で話しました。

全国生涯スポーツ優良団体表彰

吹上サッカークラブ

平成二十一年度生涯スポーツ優良団体として文部科学大臣表彰を受けた、吹上サッカークラブが十一月十日、宮路市長を表敬訪問しました。

同クラブは、小・中・高校で競技をしてきた選手の受け皿として活動し、平成十七年度には九州代表として全国大会に出場

するなど活躍しています。

また、所属選手は、地域のサッカースポーツ少年団の指導者としてサッカー競技の底辺拡大に努め、平成四年に設立以来、十七年間地域に根付いた活動を行っており、サッカー競技の普及振興と青少年の健全育成に努めています。



伊集院地域	宮下 昂汰 (出生児)	敏信 (保護者)	自治会
茅野 愛莉	秀一 (出生児)	天神馬場	
吉村 佳	勝矢 (出生児)	郡下	
遠矢 愛梨	卓 (出生児)	古城	
坂元 安寿	俊彦 (出生児)	猪鹿倉	
焼山 恵梨	真人 (出生児)	妙円寺六区	
竹之内 美緒	智 (出生児)	下方限	
大迫 洋哉	正大 (出生児)	猪鹿倉	
永山 紗椰	博之 (出生児)	中福良	
安達 歩吹	辰明 (出生児)	妙円寺九区	
久木田 莉香	将司 (出生児)	猪鹿倉	
岩川 紘生	友和 (出生児)	清藤	
十島 颯都	達也 (出生児)	猪鹿倉	
江藤 亮介	竜太 (出生児)	瀬戸内	
上拾石 拓海	慎吾 (出生児)	徳重東	
東市来地域	堀内 元湯 (自治会)		
(出生児)	吉田 小巴瑠	和成 紘平	堀内 元湯
(保護者)			

戸籍の窓

このコーナーに掲載を希望されない方は手続きのときに、お申し出ください。

おめでとう

11月受付分(敬称略)

伊集院地域	吉留 優斗 (出生児)	竜一 (保護者)	自治会
中村 海輝	雄大 (出生児)	東宮内	
林 心音	辰博 (出生児)	西本町	
田口 慧	誠 (出生児)	中津	
岡村 芽生	敬子 (出生児)	西本町	
宮本 結空	航 (出生児)	東宮内	
吹上地域	上村 沙耶 (出生児)	義明 (保護者)	自治会
鶴狩 心愛	裕道 (出生児)	北区	
日吉地域	増田 茉莉亜 (出生児)	豊彦 (保護者)	自治会
日高みなみ	崇正 (出生児)	堀内	
末山冬羽	龍三 (出生児)	田之湯	
後沢 悠	透 (出生児)	川北	

伊集院地域	窪園 七藏 (故人)	猪鹿倉	自治会
前村 豊茂	76	竹之山	
尾堂 良盛	81	徳重東	
奥 サクラ	99	中川	
東 フク	84	恋之原	
横山 房子	87	猪鹿倉	
小屋敷正則	77	猪鹿倉	
吹上地域	山口 タメ (故人)	上田尻	自治会
片ノ坂シヅエ	88	上田尻	
橋本 利男	89	藤元	
日吉地域	神山 律子 (故人)	北區	自治会
新村ハツ子	73	中央	
永山 輝男	88	田代	
山元 トミ	69	永山	
吉永 武志	98	駅前	
吉村 和子	98	中伊作田	
米澤 チエ	74	田代	
宮内 五子	93	荻	
野上 チエ	96	古市	
八木フサノ	90	尾木場	
東市来地域	湯地 定興 (故人)	天神馬場	自治会
宮園 安雄	74	恋之原	

健康情報 ひおき

みんなでひろげよう!「元気な市民づくり運動」

こんにちは♪赤ちゃん

平成20年から始まった事業で、出生届けの際皆さまにこのパンフレットを配布しています。

シリーズ44

- 目的は?** 子育て支援に関する情報提供を始め、育児不安や悩みの把握と相談を行うことで家庭の孤立化を防ぎ、健全な育成環境の確保を図る。
- 実施時期は?** 赤ちゃんが生後2カ月になったころ(～生後4カ月ごろまで)
- 実施者・対象者は?** 各地域で担当の母子保健推進員が、すべてのご家庭を訪問いたします。

実際にこんにちは赤ちゃんの訪問の様子を見させていただきました

- まず、事前に母子保健推進員さんから保護者あてに連絡をして、日程調整を行っていました。(突然お伺いすることもあります)
- 当日、ご自宅を訪問して、こんにちは赤ちゃんカードに沿ってお話をしていきます。
☆インターフォンを押すときや声をかけるときは、とても緊張します。



- <こんにちは赤ちゃんカード>
- ・1カ月健診の状況
 - ・食事、喫煙状況
 - ・お母さんの体と気分の状態
 - ・産後の支援状況
 - ・その他相談など



③この日は、部屋の中でお話を聞きしました。(時間帯や対象者の都合などに応じて対応しています。)

特に異常もなく、だいぶ大きくなってました

母子手帳も見せてくれました。



1カ月健診の様子はどうでしたか?



宇田さんへインタビュー

Q. この事業があることを聞いた時の感想は?
→色んなことをしているということと、産後のフォローまでしてくれるんだとビックリしました。

Q. 時期はいつですか?
→この時期(2カ月ごろ)がちょうど良かったです

Q. お話をしてみてどうでしたか?
→妊娠中からお手紙を持ってきてくれたり、同じ自治会で知っている方だったので話しやすかったです。先輩母でもあるので今後も頼もしいです。



今回、ご協力をいただいた宇田香織さん(左)と美波ちゃん(中央)、母子保健推進員坂口さん(右)

母子保健推進員さんへインタビュー

Q. こんにちは赤ちゃん訪問をしてみた感想は?
→個人的にはいろいろな活動の中で一番大変ですが、赤ちゃんやご家族にお会いできるのは楽しみです。

寝ていて会えないことなどありますが、実際に赤ちゃんを抱っこさせてもらえると、うれしくなります。

微力ながら皆さまのお手伝いができればと思っています。

☆リボンシリーズ☆ 今月のリボンは・・・レッドリボンです

レッドリボンは、「エイズに対する理解と支援」を表しています。このリボンを身につけることで、エイズに関して偏見をもっていない、エイズとともに生きる人々を差別しないというメッセージを伝えることができます。また、1988年WHO(世界保健機関)が12月1日を「世界エイズデー」として、本県でも世界エイズデーを中心とする1カ月間を「鹿児島レッドリボン月間」と定め、エイズの予防などを推進しています。レッドリボンを通してエイズについて考えてみませんか。

「日本年金機構」が来年1月1日からスタート!

～社会保険庁が廃止され、新たに「日本年金機構」がスタートします。～

国民の皆さまの信頼にこたえ、一層のサービス向上の実現を目指し、社会保険庁は組織・人員を一新し、「日本年金機構」として生まれ変わります。

- ◎ 現在あるお近くの社会保険事務所は、新たに「年金事務所」と名称が変わりますが、年金相談などの窓口として引き続きご利用いただけます。
- ◎ 日本年金機構の設立に伴い、国民の皆さま方に何らかの手続きをしていただくことは一切ございませんので、ご安心ください。

社会保険庁

➡

公的年金の運営業務

日本年金機構

社会保険庁

➡

公的年金の財政責任・運営責任

厚生労働省

【問い合わせ先】 鹿児島社会保険事務局 TEL099-812-0151



ギャラリー 私の作品展

『押し花』

なかたまり ゆうこ
中玉利 祐子さん(53歳) [伊集院町麦生田]

中央公民館に展示してあった「押し花」の作品を初めて見たとき、とても感動し自分も作ってみたいと思い始めました。押し花をやってみるととても楽しく、もっと大勢の人にも楽しさを教えてあげられたらと思い、平成8年にはインストラクターの資格を取得。現在は、妙円寺地区で押し花講座の講師を務めています。「最初は、限られたスペースの中で思い通りに表現していくことは難しいですが、四季折々の草花に触れ、いろんなことをイメージしながら作品が出来上がっていくときの喜びがあります」と中玉利さん。これからは、ゆったりとした時間の中で、風を感じられるような作品を作りたいですね。



市民の広場

ウォッチまちの文化財 54

荻前田橋

東市来地域養母地区の荻集落の大里川水系に架かる石橋です。完成したのは昭和6年で、石橋としては新しいものですが、東市来地域では唯一の2連アーチ式石橋（眼鏡橋）です。規模は、長さ約21.5メートル、高さ約5.6メートル、幅約5.5メートルです。

橋の右岸にこの石橋の完成記念碑があります。高さ1.72メートル、横73センチメートル、奥行き52センチメートルの大きな石碑です。この石碑によると、昭和6年2月8日に着工し、6月23日に完成しています。総工費は2,605円でした。

石碑には工事委員長や監督などの主だった役職の人々のほかに、この橋の建設に寄附した約380の団体と個人の名前が、石碑の両側面と背面にびっしりと刻んであります。団体では「荻□□業組合、尾木場小組合、高塚西小組合、高塚東小組合、野下小組合、郷戸小組合」などがあります。この橋が多くの人びとにとって重要な道路であったので、これだけの寄附が集まったのでしょう。

Access

本庁から車で20分
東市来支所から車で10分



夢とチャレンジ

わたしの夢はパティシエ

永吉小学校 六年 中城 奈々さん

わたしの夢は、パティシエになることです。なぜ、パティシエになりたいかというところ、わたしは、どんなお菓子よりケーキが好きだからです。特にシヨコラケーキとイチゴシヨコトが好きです。やっぱりチョコとイチゴはケーキには欠かせません。
わたしがよく行くお店のケーキは、ハート型だったり、キティちゃんデコだったりしてとてもかわいいです。生クリームのはりり方がお見事で、プロはすごいなあと思います。これまでケーキを作るときは、母と一緒にだったので、今年のクリスマスは一人でケーキ作りにチャレンジしてみたいです。どんなケーキなるかわくわくします。
将来、自分で店を建ててオープンさせたいです。見た目もきれいで楽しめて、味も最高に美味しいケーキが作れるプロのパティシエになってお客さんに喜んでもらいたいです。

いきいき

シリーズ55

日置に生きる



就農前は特に興味がなかった農業も、自然相手の厳しさを実感しつつ、生産する楽しさや喜びを感じながら茶葉の品質向上に努めています。「まだまだ失敗の連続です。しかし、そのたびに、以前勤務していたときに知り合ったトップレベルの生産者からアドバイスをもらっています」また「サラリーマン時代は、ドライブによく出かけましたが、こっちに来て車も必要なくなり売っちゃいました」と今では農業に全力投球。
そんな中で楽しみは、一日の仕事を終え子どもと遊ぶこと。「子どもと一緒に風呂に入った遊んだりしていると心がいやされます」と話します。
「これからは向上心を忘れずトップレベルの生産者を目指し、将来的には三十畝まで規模拡大を目指したいです」と話す榎園さんからは、農業に対する情熱が伝わってきました。

サラリーマンから茶農家へ転進、品質の向上を目指す



えのきぞの こういち
榎園 浩一さん[43歳]

伊集院町飯牟礼(飯牟礼上自治会)

●世献榎園製茶(有)



馬場 心咲ちゃん(5才9カ月)
あんな 杏奈ちゃん(3才7カ月)

父 英人さん 母 結さん
(吹上町湯之浦)

■おかあさんから
いつも笑顔をありがとう。これからも仲良しでいてね。

わんぱく直送便



はやと
坂井 勇仁くん(10か月)

父 剛さん 母 直子さん
(伊集院町郡)

■おかあさんから
すくすく元気にそだってね。

元気のある
お子さんの写真を
募集しています。

市内に住む6歳以下のお子さん
①氏名②生年月日③保護者氏名④お子さんの近況(お子さんへのコメント)
⑤広報へのご意見⑥連絡先を添えて、市役所総務企画部企画課(住所は
未定)までお送りください。



鹿児島県日置市

市の人口 (住民基本台帳)

総人口 51,901人(△10)

男 24,325人(8)

女 27,576人(△18)

世帯数 22,484 (△ 4)

12月1日現在 ()は前月比

東市来地域 12,819人

伊集院地域 24,435人

日吉地域 5,521人

吹上地域 9,126人

市の面積 253.06km²

今月の表紙



「伊作流騎馬奉納」

伊作流騎馬は1538年、島津忠良公の加世田城攻めの戦勝祈願に由来し、以来継承されているものです。

(「人馬一体 見事な一矢に大歓声」 P16関連記事)

No.56 平成21年12月号

発行/日置市役所 総務企画部企画課

〒899-2592 日置市伊集院町郡一丁目100番地

TEL 099 (273) 2111
FAX 099 (273) 3063

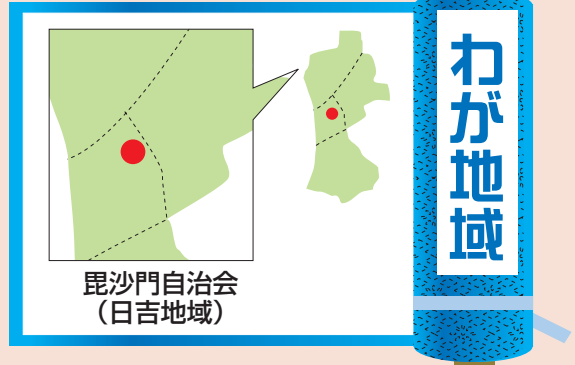
東市来支所
TEL 099 (274) 2111

日吉支所
TEL 099 (292) 2111

吹上支所
TEL 099 (296) 2111

<http://www.city.hioki.kagoshima.jp/>

日吉地域の最東部、住吉地区を形成する自治会のひとつである毘沙門自治会。平成二十一年十二月一日現在で三十六世帯百人が暮らしています。日吉地域の中でも小規模な自治会ですが、年間を通したさまざまな活動やあふれる自然を生かした住吉小学校区での活動「ホタルの鑑賞会」などは、住民一体となって取り組んでいます。



わが地域

毘沙門自治会 (日吉地域)



▲「毘沙門天」の清掃作業



▲中島春洋会長

毘沙門自治会 (日吉地域) 自治意識の高揚により活力と温もりにみちた地域



▲毘沙門自然の森で行われる花見

自然に囲まれた毘沙門自治会。少子高齢化の進む地域ですが、自治会活動は、地域全員で協力しながら取り組んでいます。**集**落には、市の文化財に指定されている「毘沙門天」があります。この「毘沙門天」は、地域の氏神として、大切にされており、夏と冬には、自治会総出による境内や参道の整備を行

毘沙門自然の森は、平成五年の災害後、お年寄りから子どもまでだれでも楽しめる憩いの場として整備された公園です。毎年、桜の季節には、市内外から大勢の人が訪れ、四月には、この公園を利用して、花見を行います。敬老会は、婦人部が中心となり九月に開催しています。当日は、食事を楽しみながら、子どもたちによる歌やお祝いのメッセージなど地域を挙げて祝います。



▲大勢が参加するグラウンドゴルフ大会

冬の行事は、十一月に毘沙門自然の森で開催するグラウンドゴルフ大会があります。大会には、子どもから大人まで大勢が参加、早朝から参加者全員で競技会場の整備から始まります。昼食は、壮青年部の作る手打ちうどんと婦人部が作るおにぎりで舌鼓、身も心も温まり大好評です。

毘沙門サロン(いきいきサロン)は、健康づくりや情報交換の場として毎月開催、七月には、大きな七夕飾りを作りました。壮青年部は、年二回ボランティア活動として、集落内の空き家などを見回り危険箇所を点検しています。

住吉小学校区の行事としては、ホタルの鑑賞会や矢筈(やはず)岳へ初日の出登山などを行っています。

これからも、近隣自治会や地区公民館などと連携しながら、地域の特性を生かし、元気で活気あふれる地域にしていきたいです。